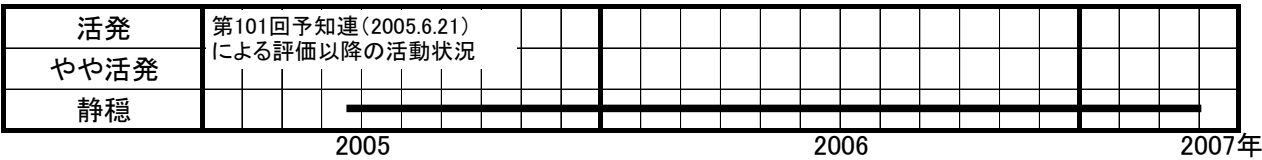


北海道駒ヶ岳

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003 年 9 月以降見られている昭和 4 年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。



○ 概況

・ 噴煙活動（図 2、図 3）

2003 年 9 月以降見られている昭和 4 年火口からの弱い噴気が時々観測されました。

2 日に第一管区海上保安本部が実施した上空からの観測、及び 16 日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの観測では、噴気活動にこれまでと変化は見られませんでした。昭和 4 年火口では 2000 年噴火のあった南側内壁部分から白色の噴気が認められました。その他、明治火口の西側内壁からもごく弱い白色の噴気が認められました。

・ 地震活動（図 2、図 5、表 1）

地震活動は低調な状態で推移し、火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 6、図 7）

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。

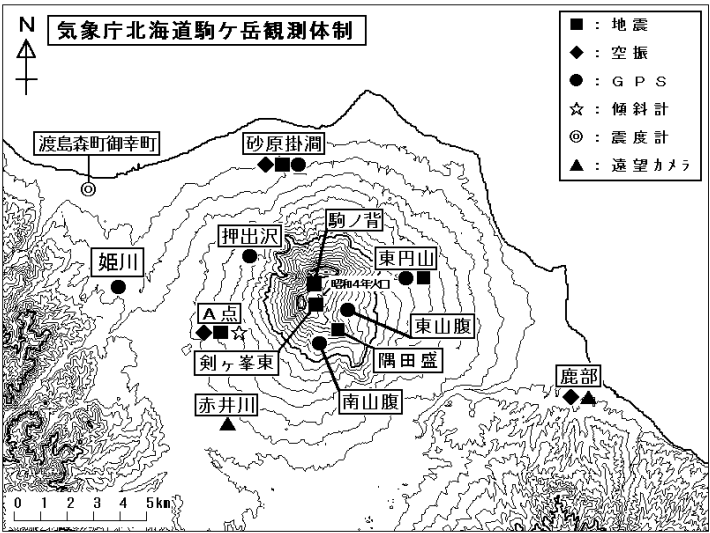


図 1 北海道駒ヶ岳火山観測点配置図

※ 資料は気象庁のほか、森町及び第一管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

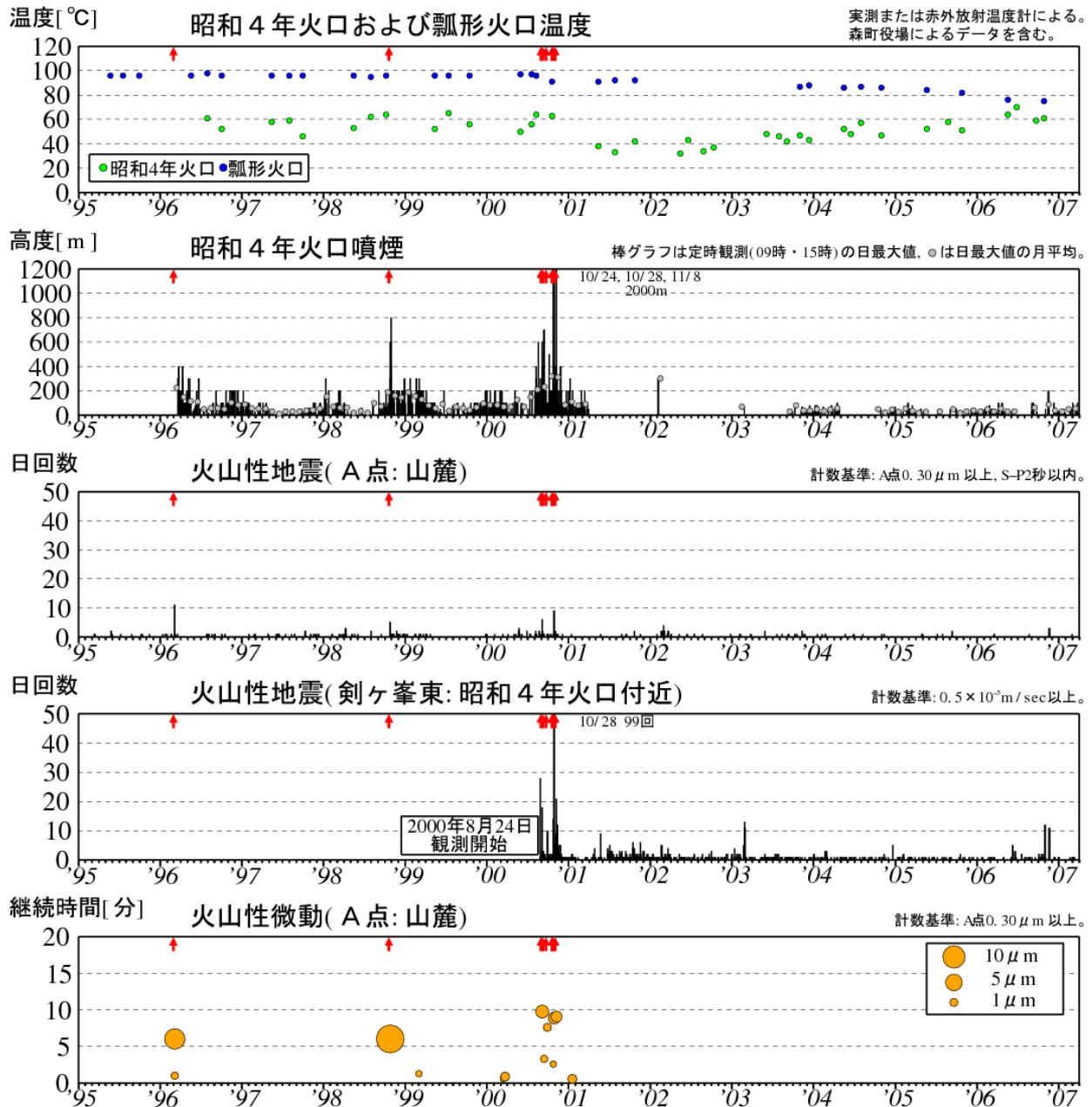


図 2※ 北海道駒ヶ岳 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 3 月）↑印は噴火
 ・昭和 4 年火口では 2003 年 9 月以降 10～50m 程度の噴煙が時折観測されています。
 ・昭和 4 年火口の火口温度は、2002 年以降緩やかな上昇傾向が認められています。

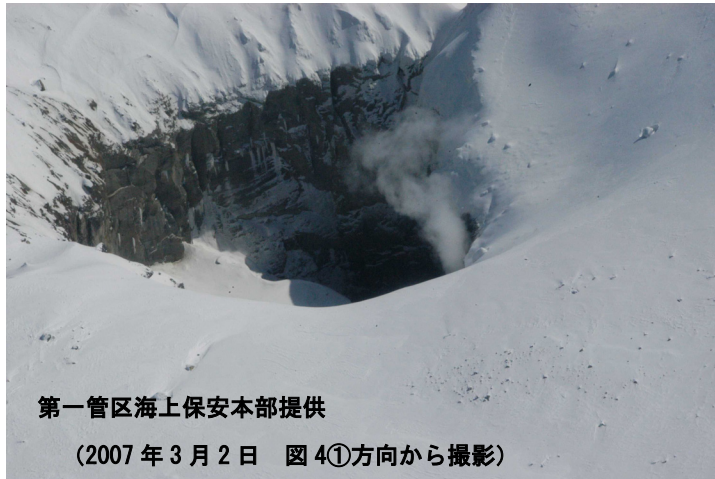


図 3※ 北海道駒ヶ岳 昭和 4 年火口付近の状況

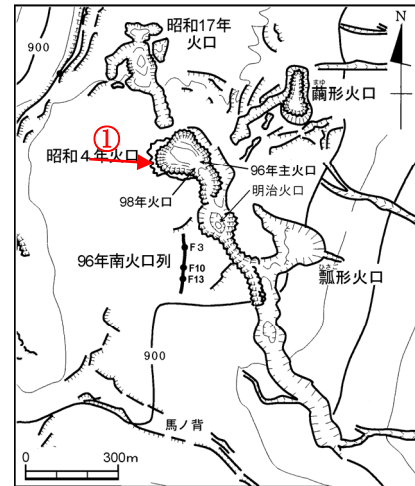


図 4 北海道駒ヶ岳 山頂火口周辺図

表 1 北海道駒ヶ岳 地震・微動の月回数（A 点：図 5 の KOMA、剣ヶ峯東：KGMH）

2006～2007 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
A 点地震回数	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1
剣ヶ峯東地震回数	2	0	12	2	5	2	11	25	3	2	1	4
A 点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

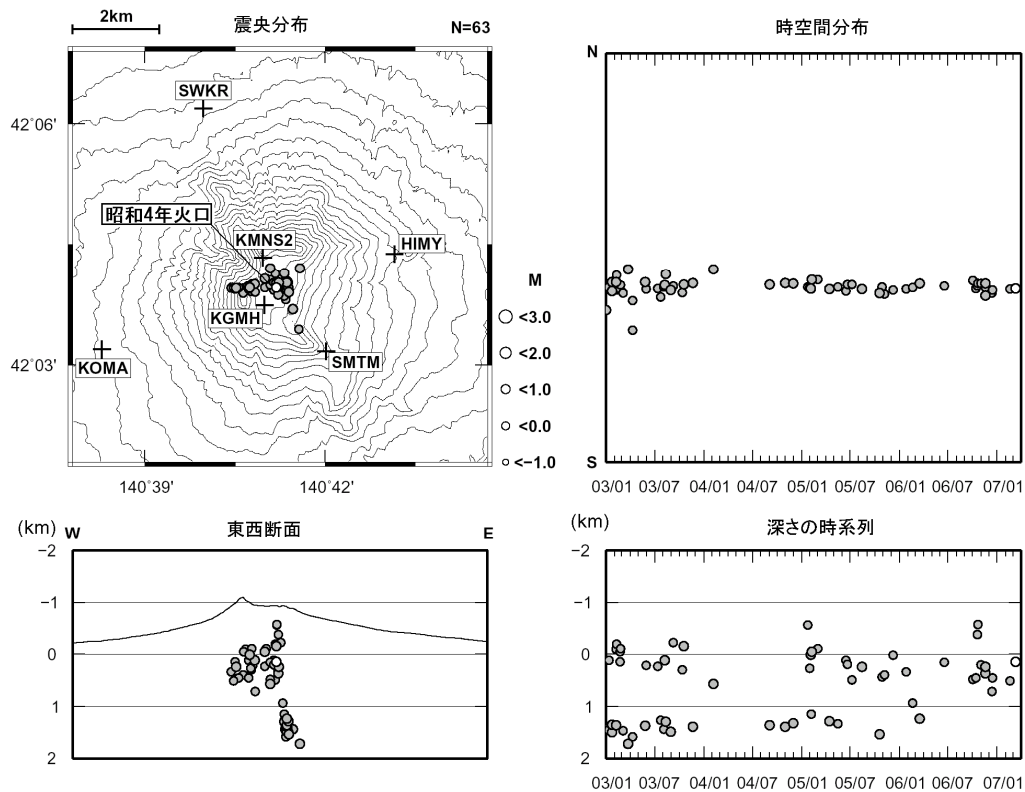


図 5 北海道駒ヶ岳の震源分布図（2003 年 1 月 1 日～2007 年 3 月 31 日、+は地震観測点）
 ○印は今期間（2007 年 3 月）の震源 ●印は 2003 年 1 月～2007 年 2 月に求まった震源
 ・これまでに求まった震源は山頂火口原直下の浅い所（山頂から深さ約 1～3km 付近）に分布しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

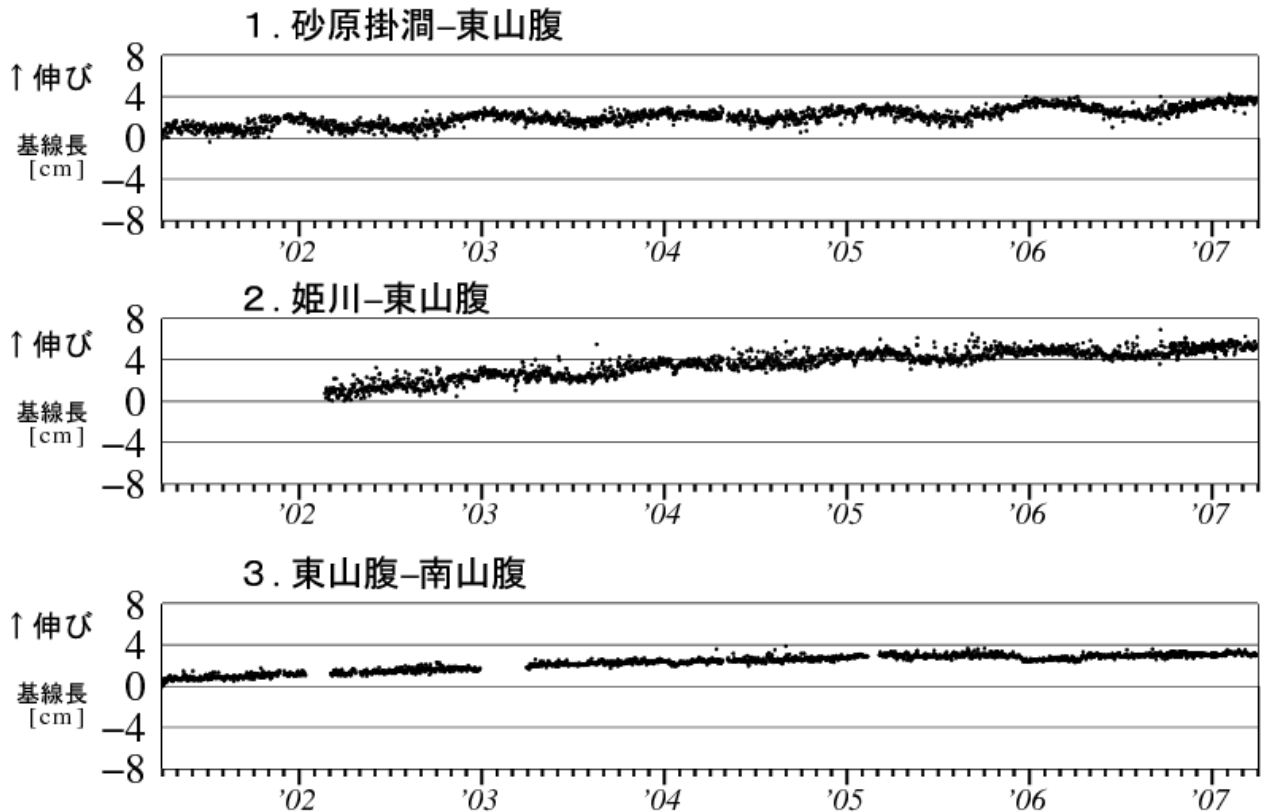


図 6 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 4 月～2007 年 3 月）

グラフの空白部分は欠測

- ・ GPS 連続観測では季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。
- ・ 図 6 の 1～3 は、図 7 の GPS 基線①～③に対応しています。

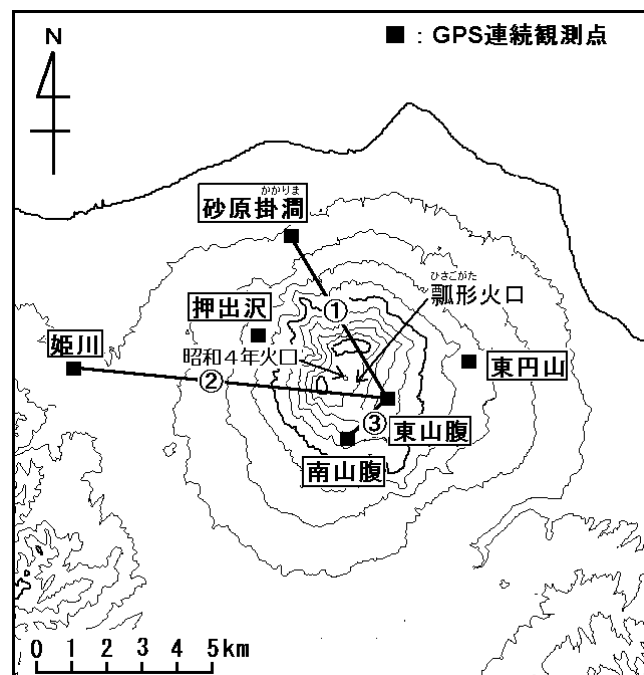


図 7 北海道駒ヶ岳 GPS 連続観測点配置図